



中央公民館

【一般書】

- ・天領の鷹上・下 (村木 嵐)
- ・青青といく (永井 紗耶子)
- ・大河の一滴 最終章 (五木 寛之)
- ・暗黒の彼方 (堂場 瞬一)
- ・釣り侍 (佐藤 賢一)
- ・チップス上・下 (真山 仁)
- ・外の世界の話を聞かせて (江國 香織)

- ・言問ラブソディ (小野寺 史宜)
- ・つくろつひと (村山 早紀)
- ・涯しない影に (赤川 次郎)

【児童書】

- 「パタパタどうぶつえん」
- 「ルルとララのカップケーキ」
- 「ルルとララのおしゃれクッキー」
- 「僕のヒーローアカデミア 全42巻」

衣奈会館

【一般書】

- ・外科医のシゴト (柳原 啓介)
- ・桜葬 (斎堂 琴湖)
- ・家で整う (小川 奈緒)
- ・青天 (若林 正恭)
- ・眠れぬおまえに遠くの夜を (桐野 夏生)
- ・ありふれた家を建てる (榎野 道流)

- ・三十路の逆立ち (くどう れいん)
- ・ドロップぼろぼろ (中前 結花)

【児童書】

「こわいこわくない」



白崎会館

【一般書】

- ・月見庵 (元山 里子)
- ・夜明けのハントレス (河崎 秋子)
- ・ハングマン 鶴匠殺し (中山 七里)
- ・六月の満月 (二栗 ライオン)
- ・交渉人・遠野麻衣子 (五十嵐 貴久)
- ・ハイジャック (高瀬 乃二)
- ・露の宿り (高瀬 乃二)
- ・ネタバレあり 双紋島の殺人 (下村 敦史)

- ・とある村の奇妙な求人広告 (月影 朔)
- ・飛距離の長い青春 (砂村 かいり)
- ・犯罪前夜 (吉川 英梨)

【児童書】

- 「おさるのジョージかぞえてみよう」
- 「ゴリラのはなくそ」
- 「バスまだかな」
- 「SPY×FAMILY 16・17巻」

※()に記載の他、多数の新刊図書が入っています。

由良町公民館だより
2026 夏号
令和8年7月1日

- ・由良町中央公民館 (日高郡由良町網代 248-12 ☎65-2418)
- ・衣奈会館 (日高郡由良町衣奈 765-7 ☎66-0921)
- ・白崎会館 (日高郡由良町吹井 910-2 ☎65-3510)

由良町文化協会

第18回ゴールデンウィーク展



由良町文化協会主催による第18回ゴールデンウィーク展が、5月2日(土)から5月6日(水)まで、由良町中央公民館において開催されました。

洋裁・俳句・絵手紙・洋画・水墨画・水彩画・切り絵・書道・クラフト・写真・陶芸・手芸・押し花の14団体、126名から317点の作品が出展されました。

開催中は、会員の方をはじめ、多くの方々が来館され、楽しく鑑賞されていました。



【7月～9月の行事予定】

由良町中央公民館

* 由良女声合唱団

第23 回定期演奏会

8月8日(土)

午後1時30分～

* 夏休み子ども講座

(詳細は、下記の通り)

サークル募集

中央公民館、衣奈会館、白崎会館ではサークルを募集しています。

現在、25団体が活動しており、由良町の文化活動の振興に貢献されています。サークルの立ち上げに興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

【俳句】 由良俳句教室

万物に刻は平等夏に入る
顔上げて踏み出すペダル五月晴
天地指す指の幼き甘茶仏
行く春の日暮おしみて土いじり
登園を拒む子が居て五月かな
忍冬花の気骨が香を這はず
落むけばそばに母ある心地かな
青空に鯉がおよぐよ群れとなり
わが村の屏風のやうな山立夏
母子草寄り添ひて待つ無人駅
庭の隅に小さき苺風ことほぐ
中腹に巖の聳える五月晴
夏の雨長きあご鬚閻魔像
枇杷新芽脳の葉になるといふ
風景を茅花流しが通り過ぐ

上本 郁子
大谷 武美
片山 綾子
狩谷 節子
小谷かおり
小山ひとみ
坂田 妹子
高橋 義巳
竹中 桃代
田淵 佳根
玉置由紀子
広瀬 峰雄
藤田 薫
吉村美恵子
北岡 ゆみ

夏休み子ども講座

* レクリエーション

ゲームで遊ぼう

7月22日(水) 午後1時30分～
中央公民館 定員20名
(1～6年生)

* 絵本の中のお菓子を作ろう

7月23日(木) 午後1時30分～
中央公民館 定員10名
(1～3年生)

* 遊字アート

7月25日(土) 午後1時30分～
中央公民館 定員10名
(1～6年生)

* 由良町探検

7月31日(金) 午後1時30分～
中央公民館集合 定員9名
(4～6年生)

* 動物ポンポンを作ろう

8月1日(土) 午後1時30分～
白崎会館 定員10名
(1～6年生)

* フラワーポットリメイク

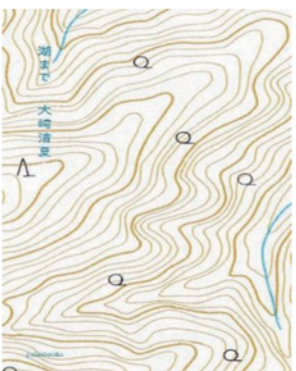
8月4日(火) 午後1時30分～
中央公民館 定員10名
(4～6年生)

* 絵を描こう

8月5日(水) 午後1時30分～
中央公民館 定員10名
(1～3年生)

【報告】 白崎会館

4月11日(土)、白崎会館にて「自転車の新ルール説明会」を開催しました。地域の皆さまにご参加いただき、理解を深める良い機会となりました。



湖まで
サヤカ
大崎 清夏 (著)
Palmbooks (刊)

〈おすすめの一冊〉

本書には、5編の連作小説が収められています。どの作品にも詩人ならではの豊かな感性が溢れ出ていて、それがとても心地よく、穏やかな気持ちにさせてくれます。

特に小さな生きものや草木などに向けられる、まなざしや語りかけからは、生きとし生けるものへの慈しみや、深く愛する心を感じずにはいられません。

静かな言葉のひとつひとつに生命が吹き込まれ、「言葉」を通じて、この本を読む人の心にそっと小さなあたたかさを灯してくれる一冊です。

